

ENERGY FRONTIER JOURNAL



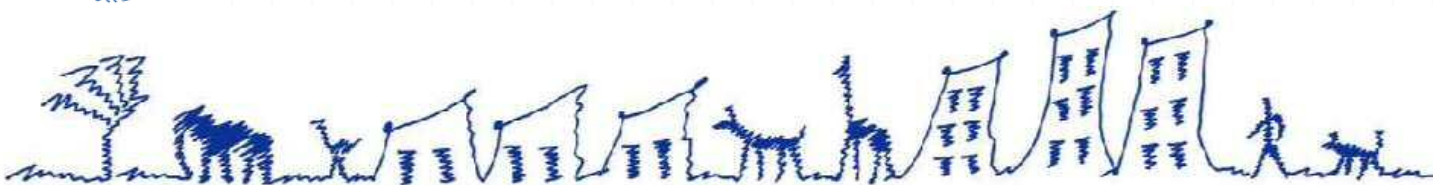
エネルギーフロンティア ジャーナル 2020年 冬号 目次



- 時事解説
“SDGs”について考えてみましょう
- エネルギーフロンティアの事業紹介
2020年度「閣議決定」最新補助金情報
- エネルギーフロンティアのひとり言
年始ご挨拶・新東京オフィス移転について
- イベント情報
「地域熱供給50周年記念式典」ほか



VOL.39



“SDGs”について考えてみましょう

皆さま、新年明けましておめでとうございます。本年も、何卒、宜しくお願い申し上げます。新春の本号では、ここ数年すっかり定着した“SDGs”に関して、改めて目指す方向性を復習しつつ、今年の“SDGs”の行方について、考えてみたいと思います。

SDGsのおさらい

SDGs (**Sustainable Development Goals**) とは、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された、「**誰一人取り残さない**」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、**2030年を年限とする17の開発目標**です。日本では、2016年開催のG7伊勢サミットで



出展：外務省様資料

国内外の取組みをアピールし、現在『**SDGsアクションプラン2019**』を推進しています。気候変動・エネルギー問題を含むそれぞれのゴールに対して、世界各国は勿論、企業や個人レベルから、**持続可能な目標**を掲げています。



私自身も、クールビスが終わり背広の季節になってから、**SDGsバッジ**を付けてお仕事しております。17色のバリエーションに富んだデザインが映えるのでしょうか、SDGsバッジのことを聞かれる機会も多いです。また、バッジを付けている方も増えてきているように思います。私自身の**具体的な行動への意識付け**にも役立っています。

2019年を振り返り・・・

2019年は、日本でも台風など災害が相次ぎました。**夏**には、各地で過去最高気温のニュースが日々更新され、海水温上昇やサンゴの白化現象の深刻さが増しました。**冬**を迎えても、気温が暖かい日が続き、以前であれば、季節感を賑わしていたスキー場からも、雪不足が伝えられています。さらに**春秋**の季節が短く感じられ、**日本伝統の四季の気候の流れ自体が、徐々に崩れつつあるような危機感**を抱いてしまいます。

そして、12月に開催された**COP25**（第25回気候変動枠組条約締結国会議）においては、世界各国が「**パリ協定**」への具体的な目標設定について議論を尽くしても、『**CO2削減目標は各国の事情に応じて前進させて、可能な限り高い野心を示す。**』との曖昧な表現に留まりました。**日本政府**としても、石炭火力および原子力発電の将来的なビジョンが世界から理解を得られず、参加したNGO団体から「**化石賞**」を受けてしまいました。16歳の**グレタ・トゥーンベリさんの演説**では、我々大人世代に対して、**厳しい視線と具体的な行動への鋭い指摘**を受けたことも記憶に新しいです。

2020年を迎えて

刻々と地球環境が変化するなかで、**2020年**の幕開けを迎えました。1人ひとりが、それぞれの立場において、「**自分なりの2020年版SDGs**」を実践すべく、目標を掲げて実行へ移していきたいものです。SDGsにおいても、「**我々は、貧困を終わらせることに成功する最初の世代になりうる。同様に、地球を救う機会を持つ最後の世代になるかも知れない。**」と示されています。エネルギーフロンティアも、日々、地球温暖化防止やCO2排出量削減への思いを胸に、ご関係者の皆さまと共に、地道に真摯にお仕事に向き合い、成せることから実行に移していきたいと決意を新たにしております。

2020年度「閣議決定」最新補助金情報

昨年12月、各省庁様からの来年度予算に関して、「閣議決定」がなされ、最新の補助金情報などが公表されました。いち早く、皆さまにお伝えしたいと思います。

経済産業省様「省エネルギー投資促進に向けた支援補助金」(エネルギー使用合理化)

省エネルギー投資促進に向けた支援補助金
令和2年度予算額 459.5億円 (551.8億円)

※ () 内のうち臨時・特別の措置120.4億円。



<概算要求からの変更点など>

- ✓ 概算要求段階では、来年度予算は増額要求でしたが、閣議決定では、2019年度予算より減額となっています。
- ✓ よって、更に補助金採択に向けて競争激化が予測されます。
- ✓ 2019年度に変更された「省電力補助金」(電気→電気への更新)と「省エネ補助金」(それ以外)に分類された補助制度が踏襲されるか注目されます。
- ✓ 2019年度から、大企業の補助率が1/4に変更されています。

出典: 経済産業省「閣議決定」予算資料

経済産業省様(今年度の執行団体は一般社団法人環境共創イニシアチブ様)が実施されている**省エネ補助金**の事業です。比較的、大規模な省エネ投資には「**工場・事業場単位**」補助金を、小規模な省エネ投資には「**設備単位**」補助金をお勧めしています。年々、**申請要件が厳しくなり、来年度予算が減額**予定となっており、更に**採択率も厳しくなる**ことが予測されます。2019年度に分類された「**省エネ補助金**」と「**省電力補助金**」の**補助制度が踏襲されるか**、注目されます。今後も情報をご提供していきたいと思ひます。

環境省様「地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」

<補助金適用のポイント>

- ✓ 2019年度34億円から、来年度予算116億円へと大幅増額予定。
- ✓ 公共施設向け(第1号事業)と民間施設向け(第2号事業)に分類されます。
- ✓ 太陽光発電・蓄電池などの再生可能エネルギーやコージェネレーションシステム等の設備導入への補助事業です。
- ✓ 平時のCO₂削減と災害時のエネルギー供給等を同時実現することが要件です。
- ✓ 来年度が最終年度

出典: 環境省「閣議決定」予算資料



環境省様(今年度の執行団体は一般社団法人環境イノベーション機構様 および 一般社団法人環境技術普及促進協会様)が実施されている**再エネ補助金**の事業です。**平時のCO₂削減と災害時のエネルギー供給等を同時実現**することが要件となります。**民間施設向け事業**(第2号事業)では、**所轄の自治体との協定締結**も必須の事業となっています。2019年度事業の経験から、**災害時の自立運転機能の確立**も重要なポイントと考えます。

来年度の補助金を活用して、省エネ・再エネ設備投資をご予定の皆さまには、出来る限り採択可能性を高めて頂くため、是非とも、当社との協働事業をご検討ください。

エネルギーフロンティアのひとり言

*** 年初ご挨拶 ***

旧年中は、皆さまには大変お世話になり、誠にありがとうございました。お蔭さまで、エネルギーフロンティア株式会社は、本年3月に10周年を迎えさせて頂く予定です。これもひとえに、当社とお仕事をご一緒させて頂きました、ご関係者の皆さまとのご縁の賜物と心から感謝申し上げます。引き続き、変わらずご支援、ご協力の程、宜しくお願いいたします。

*** 東京新オフィスご案内 ***

なお、当社の東京営業所として、2016年8月から「西新橋協働オフィス」を運営して参りましたが、昨今の新橋エリアの再開発の影響もあり、新たに、一般社団法人ソーシャルテクニカ様にもご賛同頂き、株式会社カーボンバンク様、脱炭素支援株式会社様とともに、事務所を移転して、「4社協働オフィス」として、再スタートさせて頂く運びとなりました。

- 新住所：〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-9 エリナビル2F
(改めて、HP等で詳細ご案内させていただきます)



新たな「西新橋協働オフィス」も拠点とさせて頂き、今後の「エネルギー」のあるべき姿を追い求め、持続可能な社会の実現に貢献すべく、皆さまとともに、一歩ずつ「協働事業」による『三方よし経営』を目指していきたいと考えます。何卒、宜しくお願い申し上げます。

イベント情報

✓ 【※その他の最新補助金情報について () 内は2019年度予算額】

- 経済産業省様「生産設備におけるエネルギー使用合理化等事業者支援事業費補助金：50億円」
補正予算枠の新規事業。生産性及び省エネ性能の高い生産設備への補助事業、補助率1/3です。
 - 環境省様「先進対策の効率的実施によるCO2排出量大幅削減事業：33億円(37億円)」
概算要求時から予算減額。「事業場CO2削減率30%以上」の追加要件の記載が無くなりました。
 - 経済産業省様「地域の系統線を活用したエネルギー面的利用事業費補助金：17.3億円」
来年度の新規予算。地域の再エネや未利用熱を活用する「地域マイクログリッド」構築を支援。
 - 環境省様「廃棄物エネルギーの有効活用によるマルチベネフィット達成促進事業：19.5億円」
来年度の新規予算。廃棄物発電等を有効活用して、脱炭素化と共に地域循環共生圏の構築を促進。
- ✓ 一般社団法人地域熱供給事業協会様では、令和2年2月3日大阪にて「地域熱供給50周年記念式典」が開催されます(定員500名、聴講無料)。1970年に開始された「地域熱供給システム」、当方も「HAT神戸地区熱供給事業」に長く関わらせて頂いた経緯もあり、シンポジウムや記念講演に期待しております。ご参加希望の方は、下記のHPからお申し込みください。
→ http://www.jdhc.or.jp/event/50th_shikiten/



〒530-0012 大阪市北区芝田2-3-19 東洋ビル本館3F
TEL : 06-6940-7681

〒105-0003 東京都港区西新橋2-11-5 TTK西新橋ビル704
TEL : 03-6206-1245 (近日上記へ移転予定)

E-Mail : info@energyfrontier.jp HP : <http://energyfrontier.jp/>